ハートケア通信 2025年 4月 号

発行：2025 年 4 月 1 日　No. 259
ハートケアグループ
〒583-0021 大阪府藤井寺市御舟町 1-63
藤井寺オフィスビル
編集：ハートケア通信編集委員
TEL 072-931-2355
FAX 072-931-2730

デイセンターリハビリプラザ桜ヶ丘

折り紙 de おひなさま

折り紙サークルの皆様が
これまでに折り紙で制作された
雛飾りを披露して下さいました。
素敵な作品展は「かわいい」
「欲しい」と終始大盛況でした。

手芸教室の皆様も、3 月は折り紙でお雛様を作られました。
「毎月季節を感じられる」「お友達にも作りたい」と大人気でした。

今月の特集
ハートケアグループ　会社方針

ハートケアグループ

快適をご利用者に 安心をご家族に since1988

(株) ハートケアホールディングス
(株) 大阪ホームケアサービス
(株) メディケア・リハビリ
(株) 青蓮荘
(株) マイオセラピー研究所
NPO法人 ケア・ユニゾン

https://www.medi-care.co.jp　ハートケアグループ ホームページ

（2025 年 3 月 1 日現在）

◆ 介護保険ご利用者総数：4939 名
【ケアプラン契約数】736 名　【訪問介護事業】445 名
【通所介護事業】1415 名　【訪問看護事業】1876 名
【福祉用具レンタル事業】467 名
◆ 介護保険外ご利用者総数：1536 名
【訪問看護事業（医療）】1060 名
【訪問介護事業（障害者総合支援）】29 名
【個人契約ヘルパー】4 名　【有料老人ホーム】415 名
◆ 住宅改修・福祉用具購入（介護保険内外含む）：9 件
◆ 障がい児通所支援事業：528 名
※上記の数は複数のサービスを利用される方の重複を含みます
◇ ハートケアグループ 職員数：928 名

ご利用者虐待防止相談窓口　TEL：072-931-7735　担当：井口

ハートケアの やさしい介護

有料老人ホームの取り組み

・日常生活動作の維持向上を目指す。
・出来る機能を活かし
意欲向上にも繋げる。

できる限り自立して排泄を行うために

排泄は人間の尊厳にも深い関わりがあります。「できれば、排泄は最後まで自分でやりたい」という声が聞かれます。

排泄をできる限り自立して行えるということは、QOL（生活の質）を維持・向上させるためにも重要になります。

ご入居者の出来る機能を活かしたケアを行うには排泄動作の「できること」「できないこと」の確認が必要になります。尿意を催すという「感覚や認知の問題」、トイレまで移動するという歩行をはじめとした「移動能力」、ドアの開け閉めという「移動＋上肢運動」、下衣の上げ下げという「立位バランス＋上肢運動」。単純な動作だけではなく、様々な複合的動作が組み合わさりながら、「排泄動作」が行われています。

排泄動作機能訓練

ハートケアグループでは、排泄介助が必要になったご入居者の出来る事を増やし自立に繋がるよう、**排泄動作機能訓練**に取り組んでいます。

取り組み内容として、午後から 2 名～4 名の少人数で立ち上がり動作や立位が不安定な方には踵上げや股開き運動・スクワット運動等、お一人おひとりにあったメニューを取り入れ訓練を実施しています。

ズボンの上げ下げが難しい方には片側のお尻を少し浮かせ体重を移動させる運動や、セラバンドを使って脱ぐ・上げる動作の訓練（セラバンドをズボンのゴムとしてイメージをする）メニュー、排泄後の後始末が難しい方には体をひねっての体操やグーパー体操等を取り入れています。

取り組みを続ける事でできた喜びと意欲向上にも繋がっています。また、入居者同士「頑張れ」「出来たね」等声を掛け合う姿や笑顔も見られます。

今後も入居者と楽しみながら取り組んでいきます。

有料老人ホーム 空室状況

（2025 年 3 月現在）
○…随時入居可　△…若干名　満…待機

青蓮荘	満	ケアホーム伊賀	△	ケアホーム長吉	満
コンフォート門真	△	ケアホーム藤井寺	満	ケアホーム加美	△
コンフォート大東	満	ケアホーム寝屋川	満	ケアホーム俊徳道	△

入居相談
お問合せ窓口　0120-974-115（平日 9 時～ 18 時）
※空室情報は変動することがあります。

デイサービス 空き状況

（2025 年 3 月現在）
○…空きあり　△…空き少し　×…空き無し

リハビリプラザ桜ヶ丘	○	リハビリプラザ小山	○	リハビリプラザ深野	○
リハビリプラザ羽曳野	○	リハビリプラザ守口	○	リハビリプラザ東大阪	○
リハビリプラザ松原	○	リハビリプラザ高槻	○	リハビリプラザなでしこ	○

お問合せ
各デイサービスまでお問合せ下さい。
デイサービスホームページ ▶

※曜日によって空き状況は異なります。
空き状況は変動することがありますので、
詳しくはお問合せ下さい。

便利な福祉用具の紹介

今回ご紹介する福祉用具は

電動車いす（自走タイプ）
WHILL Model CK

・大容量のショッピングバスケット
・スマートキーで簡単ロック
・アームの跳ね上げで簡単乗り降りが可能

一般的なスクータータイプの電動車いすに比べて、長さも横幅も少しずつ小さく重量も約半分の軽量でデザインもスタイリッシュ。方向転換の際、その場で回転（半径 76 cmを一回転）ができることも大きな特徴で、小回りの利く車いすです。

さらに外出時には、デコボコ道や歩道などの段差が気になりますが、5cmまでの段差なら乗り越えることができ、その際の衝撃も後輪のサスペンション構造で吸収してくれるので、長時間走ってもストレスが少ないのもお薦めポイントです。

また【WHILL Model CK2】は、分解して車に乗せることも可能で、外出先や旅行先でも組み立てて使用することができるので便利です。分解できる車いすはとても画期的で外出の機会も増えそうですね。

レンタル部では、転倒防止委員会や褥瘡部会など当社有料老人ホーム部門の色々な委員会にも参加しているので、ご入居者の生活が快適に、そして介護スタッフの介護の効率化や負担軽減に繋がるような福祉用具・福祉機器の情報提供ができるようにこれからも頑張ります。

レンタル部　田中 大輔

ご利用者からの声

以前、スクータータイプを使用していたご利用者から、「スーパーに買い物に行きたいけど、これだと大きすぎて買い物に行くのにも気を使ってしまう」「気にせずに買い物に行きたい」と相談があり、こちらの機器を利用いただいたところ、「コンパクトだから周りを気にせず買い物ができた」と喜んでいただけました。

また、【WHILL Model CK2】を使用して 4 年目になるケアホーム寝屋川のＳ様からも「乗り心地もまずまずで、段差が上手く越えられるところがイイ」とのコメントを・・・毎日、午前と午後に一時間程度ずつ、ご自身のリハビリを目的に施設周りや歩道などを電動車いすで散歩され頑張っておられます。

これからも引き続き電動車いすで外出の機会を増やしていただけると嬉しいです。

有料老人ホーム 家族運営懇談会

２０２５年３月１日（土）に、２０２４年度の家族運営懇談会を開催しました。感染症予防対策として、昨年度に初めてＺＯＯＭを使用してＷＥＢで開催しましたが、好評であったこともあり、今年度もＺＯＯＭで開催致しました。

事前にご家族にお送りした冊子の内容に沿って、決算報告や事業報告の他、入浴環境や福祉用具導入の取り組みなど、委員会や運営本部としての取り組みをご報告しました。

その後の懇談会では、ご家族からの感想や、ご意見をお伺いしました。

「母の表情を見るとゆったり過ごせていることが分かる。スタッフも明るく家族として安心している」

「福祉用具の取り組みを聞かせてもらってすごいなと思った。自宅では限界もありこのような用具を使ってもらえるのはすごいと思った」

「他の家族と触れ合う機会があまり無いので、こういう機会はありがたいと感じた」

など、嬉しいご感想もいただき、大変有意義な時間となりました。

今回の家族運営懇談会を受け、より良いサービスの向上と安定した経営を継続できますように、今後も努めて参ります。

2025年度 ハートケアグループ 会社方針

平素はハートケアグループおよび各事業所の運営にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

財務省・厚生労働省などの各省庁が社会保障にかかる全体的な費用の抑制の方向性を打ち出しており、２０２７年に実施予定の３年に一度の制度改定・介護報酬の見直しでは、大きな変革も予測されています。介護事業者はさらなる厳しい運営が求められることになりますが、それに対応できる体制を今から構築していく必要があると考えています。

弊社といたしましては、会社方針として以下の施策を職員に提示し、この苦境を乗り切っていく所存でございます。

まずは、昨年に引き続き、各事業所の**「現場力」の向上**を目指します。事業所のリーダーは会社が発信するメッセージを職員に理解してもらい、部下の個々の役割を明確にしてそれを認識させ、事業所が一丸となって目標の達成を目指します。

次に、労働生産性を高めるため、**業務の管理、シフトの管理を徹底**します。社会保障費の抑制、労働力人口の減少もあり、少ない人数での事業運営が求められているのが現状です。そこで、機器の導入などにより、職員が行っていたことを機器で行えるようにするなどの業務の見直し、人の配置の見直しなどを進めていきます。

人材の確保・定着・育成は、弊社だけでなく、人口減少社会の恒常的な課題とも言えます。働きやすい職場環境、会社への貢献に見合った評価システムの整備を継続し、**自律した人材の育成**を進めてまいります。

ご利用者に選ばれるサービス事業者となるためには、サービスの質の維持・向上はもちろんですが、アピールも必要です。弊社サービスの良さや特性をご理解いただけるよう、**スキームの構築**を行います。

また、**社内ルール・マニュアルを十分に周知し、順守してもらう**ことで職員の共通認識を形成し、その中で不都合が生じた場合には十分な協議を行い、見直していくことが重要と考えております。

今後とも、選ばれるサービス事業者を目指し、ご利用者、ご家族、関係者の皆様に満足いただけるサービスの提供に引き続き邁進してまいります。

ハートケアグループ代表
下田 晃司

2025 年度 代表方針

２０２７年を見据え、改革の歩みを止めることなく『成すべきこと』を果敢に実行
課題解決の量を重ね、さらに前進していく
サービス事業者として、利用者、入居者の期待に応えるサービスを提供
選ばれる介護、医療サービス事業者を目指す

○営業所の現場力（組織力）を向上させる
目指すべき目標、目的を明らかにし、一人ひとりに役割をもたせる
営業所長を中心に結束力を高め、社員一丸となり共通のゴールを目指す

○業務、シフト管理を最大限活用する
労働生産性を高め、少数精鋭体制の確立を実行する

○人材の確保、定着、育成に焦点を当てる
働きやすい職場環境を実現
会社貢献に見合った評価体系を確立
自らが考え、動ける人材を育成

○利用者、入居者を獲得するため営業力を強化
サービスの強みと其の成果を知らしめる

○時代の変化に順応できるよう
備えを万全にする
会社が定めた方針、ルール、マニュアルを確り理解し、順守する